



清川

『子どもたち一人一人が
主役として輝く学校』

学校教育目標

『考える子（知）豊かな子（徳）強い子（体）』

キャッチフレーズ

『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』

重点（目指す子どもの姿）

【チャレンジ】【挨拶・感謝】【思いやりの心】

令和6年9月9日発行 No.10(文責 新津 貴裕)

一人の高校球児から学んだこと

今年の夏休み、学校閉庁日もありゆっくりと過ごす時間をもつことができ、オリンピックと同時に高校野球に釘付けとなっていました。スポーツに必死に取り組む選手や高校球児からはたくさんの感動と勇気をもらいました。昨年度9月発行の学校便りでは、「読書の秋」と題して甲子園を賑わせた二人の監督の著書からの学びを紹介させていただいたところですが、今回は一人の高校球児が与えてくれたきっかけからの学びを紹介させていただきます。

高校球児は、健大高崎高校野球部主将・箱山遥人選手です。このチームは春の選抜大会で全国優勝を飾り、夏の大会も優勝候補の1つと注目されていました。彼自身も捕手として素晴らしい力を兼ね備えており、この秋のドラフト候補にも挙げられています。残念ながら夏の大会では1-2と2回戦で惜敗してしまいましたが、試合後の彼の姿や取材に応じたときの言葉が心に残りました。

「本当に幸せでした。もう二度とこんな2年半は過ごせないと思います。この先、野球を続けても、こんな大観衆の中で、この仲間とこれだけ熱い気持ちをもって泥臭くプレーすることは、もう二度とできないと思います。100年、90年人生があります。本当にこの2年半は80年分ぐらいの濃い時間を過ごしたと思います。日本一にはなれませんでした。日本で一番仲間に恵まれて、最高の主将生活を送れたと思います。」「甲子園は思い出作りに来た場所じゃない。プロになって戻ってきたい。」と仲間が甲子園の土を集める中、彼は甲子園の土は持ち帰りませんでした。18歳とは思えぬ落ち着きと芯の通った考え。主将としての重圧もあったことでしょう…。そんな彼の心の支えとなっているものは何か…。その答えが、熱闘甲子園の中で紹介されていました。彼の考えの根底にあるのは、福聚山慈眼寺住職を務める塩沼亮聞さんの書物からであることがわかりました。さっそく「人生生涯小僧のころ」という書籍を購入し拝読いたしました。修行からの学びが紹介されているのですが、それは人としての大切な教えであり、学校現場においても子どもたちの教育に必要なことだと感じたところです。本校の今年度の重点である「子どもたち一人一人が主役として輝く学校～チャレンジ・挨拶感謝・思いやりの心～」の実現に向け、この書から得た学びの一つでも多く生かしていきたいと思っています。興味のある方、お貸しいたしますよ。

◇本当の喜びというのは、今、自分が与えられている環境が、 **『人生生涯小僧のころ』**より
本当はとても感謝なんだと心から気付いた瞬間に沸き上がってくるものです。

◇「今日より明日、明日より明後日」、そういう向上心が絶対に欠かせないと思っています。…(中略)それと大事なものは、「やらされている」と思わないことです。

◇その日のことはその日のうちにする。そのために私は、自分に十の力があれば十を出し切ることを心がけていました。

◇現実を受け入れ愚痴らず精いっぱい生きると、そこに道が開けてくる。

◇人と人との心をつなげるのに技術は必要ありません。技術とか経験というものは、時によっては毒となる場合があります。大切なのはたったひとつ、それは「心」です。人を思いやる心というのは、まわりまわって、自分の心を穏やかにしてくれます。やさしい言葉を相手にかければ、やさしい言葉がどこからかめぐってきます。

◇心を込めて生きるから心が変わり、心を込めて語るから相手の心に伝わり、心を込めて行うからみんなが感動してくださる。

◇「人生を生きていく上で一番大事なもの」とは、「足ることを知ること」と「人を思いやること」の二つです。

⇒与えられた環境をありがたく受け入れるということ

毎月の『清川っ子』を紹介します

校長室前と体育館への渡り廊下には、4月からの子どもたちの学習や行事への取組の様子を月ごとに紹介しています。保護者・地域の皆様にも毎月の『清川っ子』の様子をご覧いただければと思います、定期的に掲載していきたいと思っています。今回は、8・9月の『清川っ子』の様子を紹介いたします。



7/3 修学旅行



7/4 プール清掃



7/10 郷土体験学習



7/11 川の学習



7/11 ALT低



7/12 避難訓練



7/18 むぎっこタイム



7/19 プール低



7/19 清中夏祭り



7/22 大掃除



7/23 終業式



すばらしい!! 清川っ子2024



第46回道新杯帯広市
少年野球大会 第3位
大正スカイファイターズ
5年 さん
4年 さん
2年 さん

「清川子どもを守る会」防犯・安全標語入選作品紹介

優秀賞

6年 さん「森の中 クマにあったら あとずさり」

入選

- 1年 さん「ぜったいに ちゅうしゃじようでは ふざけない」
- 1年 さん「みぎひだり くるまがとまるか よくみよう」
- 2年 さん「ばすのなか シートベルトを ままろうね」
- 2年 さん「しらせるよ おおきなこえて さけぶべし」
- 3年 さん「あぶないよ よそみうんてん きけんだよ」
- 3年 さん「あわてるな まわりみないと ひかれるぞ」
- 4年 さん「うすぐらい みえにくいじかん きけんだよ」
- 4年 さん「ゆずり合う 心のゆとり 事こへらす」
- 5年 さん「運転中 スマホさわると あの世行き」
- 5年 さん「あぶないよ 歩きスマホで 命のきき」
- 6年 さん「いじめだめ 人のこころを きずつける」